

しば子先生の

芝生教室

第81回 何%?



先生：疎水性土壌粒子によるドライスポットとそれに対応するための浸透剤の役割はわかってもらえたと思うけど、特に重要なのはドライスポットが発生する前に浸透剤を撒くことが重要なね・・・

生徒：出る前からですか？

先生：そうなの・・・早い春の、まだ土壌が熱くなっていない時ね・・・その時期の土壌粒子の有機被覆はまだ撥水性になっていなくて多少なりとも水分を保持しているわ・・・その時から浸透剤分子がその被覆の回りに集まって水分子が失われるのを阻止することによって気温が上がっても疎水性にならずに済むのよ・・・

生徒：なるほど・・・風邪をひく前が大事という事ですね・・・

先生：そんな感じね・・・大体、ドライスポットが通常発生する時期の最低でも1か月前には最初の浸透剤の散布が望ましいわ・・・

生徒：遅い冬からという事ですね・・・

先生：そうね・・・でも浸透剤だけに頼ってもドライスポットだけではなく、土壌中の有機物が増えていくと土壌中の空気、つまり孔隙が少なくなって根の成長が悪くなるから、やはり根本的な解決には更新作業が必要になってくるわね・・・

生徒：更新作業・・・大変ですね・・・

先生：そうね、手間暇がかかるわね・・・じゃあどのくらい穴を開けたらいいか知ってる？

生徒：えっ？どのくらいっ・・・て・・・

先生：ちょっと計算すればわかることよ・・・数字は不得意なの？

生徒：まあまあ・・・大好きではないですけど・・・

先生：あらあら、どんな仕事も計算は大切だからちゃんと頑張つてよ・・・

生徒：・・・はい

先生：この計算式の説明を見れば簡単にわかるわね・・・大体エアレーションの機械はタインの間隔が2インチ、つまり約5センチだから、1㎡の面積には約400個の穴が開くという事なのよ・・・

生徒：なるほど・・・

先生：で、タインの直径がわかっ

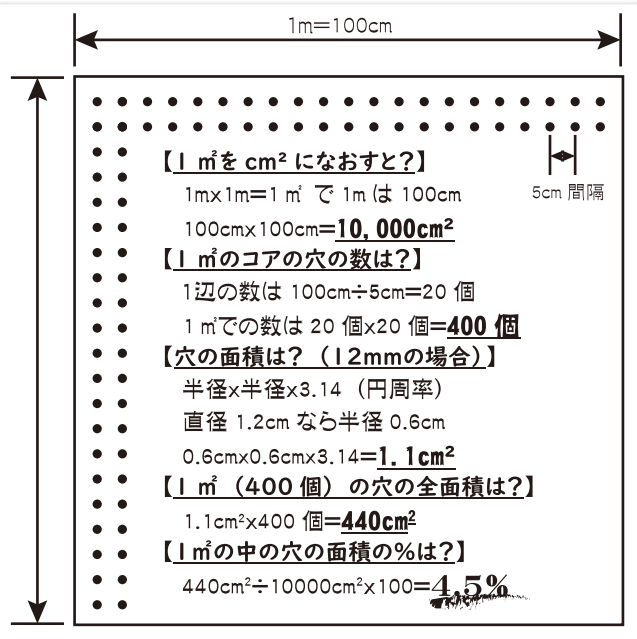
ているから半径×半径×3.14

で穴の面積がわかるわね・・・

生徒：12mmのタインで空けてたった4.5%の面積なんですね・・・

先生：実際は少々穴が縮むからそれ以下ね・・・そして穴の中に砂も入れないといけ

穴の直径	1㎡の面積 (%)
9mm	2.5
12mm	4.5
16mm	8.0
20mm	12.6



ないから、実際のところ 9mmのタインではちょっと新しい砂を入れるのは難しいわね・・・だから最低でも12mm以上のタインでないと効果は低いわ・・・12mmのタインで10回更新作業をしてもまだ半分の面積にもならないわ・・・年に2回なら10%未満・・・

生徒：一度土壌が悪くなら直すのは大変な仕事ですね・・・

先生：そのとおりね 12mm と言ってもムクのタインで突くだけでは砂が入替わるわけじゃないから更新作業をしたことにはならないわね・・・畑のように耕耘をかけられない芝地は土壌を汚さないようにしないといい事ないわね・・・

しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・・・
shibako@hugh-enterprise.co.jp

